

## 資本構成の最適化

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者  
加入協会

関東財務局長（金商）第430号  
一般社団法人資産運用業協会

<https://www.fromhc.com>

2026.05.26

人+産業金融=成長  
成長を支える投資の原点へ



# 概要

## 資本構成

貸借対照表の負債・資本側の構成のことであり、その事業キャッシュフローが生み出した余剰利益を資金の出し手、すなわち投資家に分配する仕組みを表す。資本構成の位置の違いは、その分配を受ける優先劣後関係を意味し、優先順位の高い順に上から下に記載され、融資は最上位であり、株式は最下位に位置する。下位ほど収益分配を受けるのに時間を要するが、その分、時間の長さに応じた追加収益（プレミアム）が得られるため、インカムの期待値は、キャピタルストラクチャの下位ほど高くなる。

## 最適資本構成の理論

最適資本構成の理論は、株式会社において、事業に内包するリスクに応じて、資本と負債の最適な比率を決めるものをいう。資本とは、事業リスクを吸収するためのもので、事業リスクに対して過大な負債をもつことは、経営破綻の可能性を高めて、投資家の利益を損ね、事業リスクに対して過大な資本をもつことは、資本利益率を低下させて、投資家の利益を損ねる。故に、最適な比率を保つことが求められる。

## 資金調達の基本形

理論的には、企業の資金調達には、三つの基本形がある。伝統的な二つの方法は、債務や資本を増やす方法。比較的に新しい第三の方法は、資産を売ることによる調達。ガバナンス上、不要資産は売却されているはずであり、資産売却による資金調達は、売却後も、資産を使用し続けることが前提になっている。

## 資金調達目的で売却可能な資産の範囲

企業が保有する資産は、不動産や子会社株式に限らず、一般的な需要があること、キャッシュフローが見込めること、権利の対抗要件を備えることなど、一定の条件を満す限り、売却による資金調達の手段となり得る、逆にいえば、投資対象になり得る。売掛債権、原材料在庫、知的財産権、輸送用機器などがある。

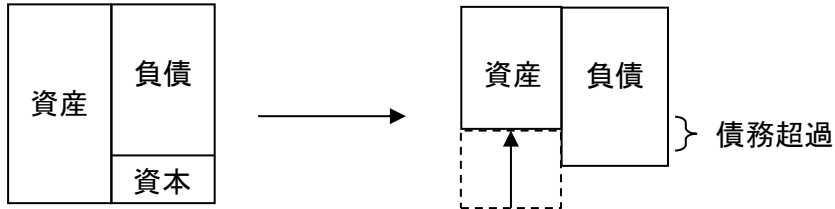
## 資金調達の目的と資本構成

企業の資金調達の目的は、概ね三つに分けられる。運転資金の調達、設備投資資金の調達、危険準備金の確保の三つである。運転資金は、主として短期借入等の流動負債によって、設備投資資金の調達は、主として長期借入や社債等の長期負債および株式によって、調達される。危険準備金の確保は、株式のみが果たせる機能である。

用語集もご参照ください <https://www.fromhc.com/glossary/>

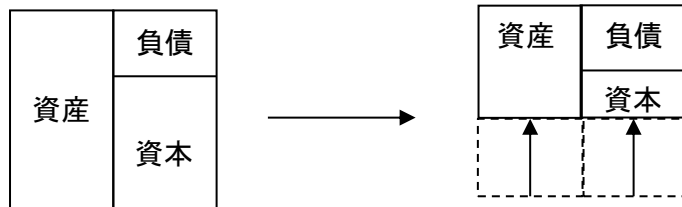
# 最適資本構成

負債比率が高い場合



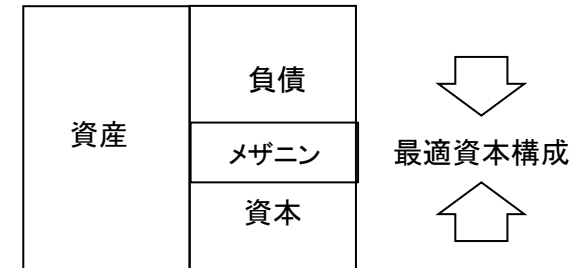
- 常態では、資本利潤率が高くなる
- 一方、事業の損失が拡大した場合、債務超過に転じる可能性が高い

資本比率が高い場合



- 常態では、資本効率を下げ、株価の低迷をもたらす
- 一方、事業の損失を、資本で吸収できる

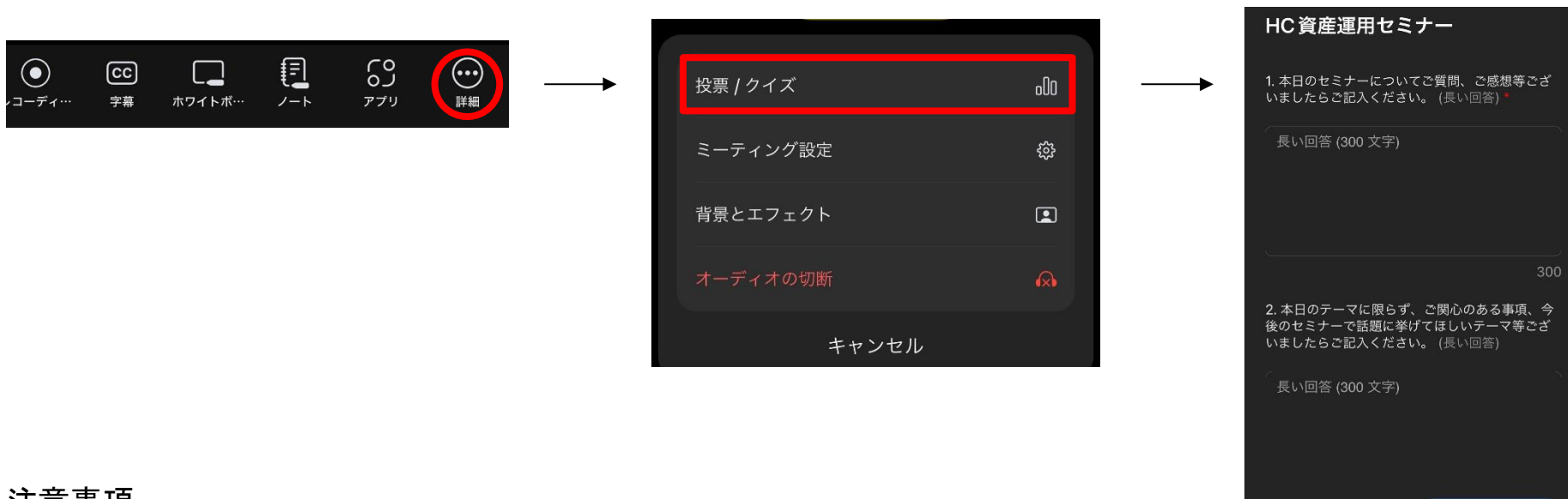
最適な資本比率は破綻リスクとの兼ね合いで決まる



- 事業リスクに応じて、資本稼働の効率性と財務の安定性との均衡点(=資本と負債の最適な比率)がある
- 保有する事業の産業構成を合理化することで、投資効率を高めることができる。

# 講演後アンケート/注意事項

今後の運営に活かしたく、ご質問やご意見、ご感想、ご興味あるテーマなどを承っておりますので、ご自由にご意見をお寄せください。  
回答方法: 各セミナー講演途上でZoom上で配信します。配信後は一度閉じた場合でも、以下の通り詳細から再表示できます。



## 注意事項

- 本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。